



大野 鎮司 議員

ふるさと納税制度推進

問

①前年度の実績は。再度納税してもらえようように何か取り組んでいるか。

②他市では、株主制度やホームページ等で工夫しているが、本市でも取り組んだらどうか。

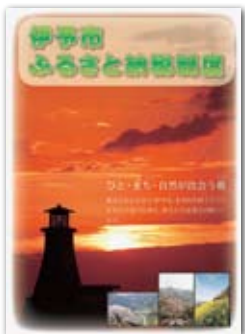
答 長尾総務部長

①前年度実績は、7件で24万5000円であり、過去5年間で最も少額で、県内自治体と比較しても低い実績である。

これまで広報紙・ホームページへの掲載、県事

業所へのチラシ配布、市内企業訪問、新聞広告などを行ってきたが、実績が上がらず、昨年5月に県内9市にアンケート調査を実施した。

その結果を参考に、再度企業や事業所を訪問し、職員だけでなく県内外支店への社内ネットワークを通じてのPR、宿泊施設での同窓会、各種総会開催時の情報提供、各事業所窓口へのチラシ設置等について、さらなる協力を依頼した。本年度3つの金融機関との連携協定も締結したので、全国の支店を通じて協力依頼をしたい。



ふるさと納税制度パンフレット

②本市でも株主制度のようなユニークな取り組みができないか、そのアイデアを参考モデルに、本市の応援隊になっていただけのような企画を研究したい。今後、全国のユニークな取り組みやアイデアの情報を参考に、より多くの方に関心を持っていただけるようホームページ等の内容充実について研究したい。

本市の健康づくり促進

問

健診受診率を上げ、医療費や介護費の抑制、地域コミュニティや地域経済の活性化が期待できる「健康マイレージ」を推進しては。

答 武智市長

本市では、本年3月、子どもから高齢者まで、それぞれのライフステージに応じて、健やかで心豊かに生活できる活力あ

る社会の実現を図り、社会保障制度が持続可能なものになることを目指して、第2次伊予市健康づくり計画を策定し、施策の推進に取り組んでいる。健康マイレージの取り組みは、受診率の向上や予防介護、地域コミュニティの活性化につながることを期待した施策であり、市民の健康への意識を高める一つの手段として考えている。

今後は、先進地等の実施内容や効果、課題などをさらに調査研究し、検討していきたい。

安心・安全かつ充実した教育環境の整備を

問

快適に学ぶ環境整備として、小・中学校の教室にエアコンの設置を推進しては。

答 井上教育委員会事務局長

現在、小・中学校とも

保健室や職員室及び校長室などの管理諸室には、エアコンが整備されており、特別支援教室や情報教室も必要に応じて整備しているが、普通教室には設置していない。

国の指針で平成27年度までに、学校施設の耐震改修を重点的に進めており、財政状況を勘案すると、各教室のエアコン整備は現在のところ難しい。なお、扇風機については、各学校の要望に基づき、天井への設置や備品としての購入で対応している。



パソコン教室に設置されているエアコン